

課題解決学習参考資料・・〈共通課題の一斉学習 → 課題を選択する班学習 → 課題を自ら設定する班学習と発展する実践例〉

3年バレーボール 単元の指導計画と評価計画 (総時数18時間) []は評価方法 1-2は1次2時間目の中心評価の意

| 段階 | 指導計画 | | 観点別学習状況の評価規準 | | | |
|-----------|---|--|--|---|--|--|
| | 指導のねらいと道すじ | 支援 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能 | 知識・理解 |
| 1次 3時間 | <p>「オリエンテーション」</p> <ol style="list-style-type: none"> 学習のねらいと学習の進め方を理解し、学習の見通しを持つ。 <ul style="list-style-type: none"> グルーピングをする(4人8チーム) グループ内の係を決める。 準備運動を理解する。 準備の方法や学習カードの利用の仕方を理解する。 基本技能について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> アンダーハンドパス オーバーハンドパス サーブ(アンダーハンド) スパイク(個人技能ポイントチェックカード) ルールやゲームの仕方を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 班編成では、仲間はずれや能力差が出ないように助言する。 学習ノートをもとに単元計画と学習のねらいを知らせる。 学習カードの具体的な記入方法を提示し、関心を高める。 示範とポイントチェックカードで基本技能の理解を助ける。 教科書を使いルールやゲームの仕方を調べさせ、意欲を高めたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 話合いに積極的に参加している。【活動観察】 ポイントを意識して意欲的に取り組んでいる。1-3【活動観察】 進んで調べようとしている。【個人ノート】 | | | <ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいや進め方準備の方法や学習カードの使い方が理解できる。1-2【活動観察】 基本技能のポイント、ゲームの進め方や簡単なルールが理解できる。【個人ノート】 運動の楽しみ方、学び方など、学習の仕方が理解できる。【個人ノート】 |
| 2次 5時間 | <p>「ねらい1」 ゲームを楽しむ中で、チームや個人の長所・短所を見つける。</p> <p>[学習の準備、準備運動] ↓ [本時の課題の説明] ↓ ←学習ノート ゲームの高まり表 [個人技能の練習] ↓ ←個人技能ポイントチェックカード [集団技能の練習] ↓ ←スキルチェックカード [ゲーム] ↓ ←チーム評価表 [反省・評価] ↓ ←自己評価表 チーム評価表 [次時の課題の提示] 学習ノート 【単元の目標づくり】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ポイントチェックカードスキルチェックカード、ゲームの高まり表を利用し、技能のポイントや課題の理解を助ける。 つまづきの多い個人やチームには、積極的に技能指導や助言をおこない、その子なりの良さを認め、称賛や励ましをする。 できばえの良い個人やチームを全体に紹介し、更に意欲を高めるとともに、技能のポイントや課題の意識づけをしたい。 目標がうまく持てない班や個人に助言する。 | <ul style="list-style-type: none"> 課題を意識し意欲的に練習に取り組んでいる。2-1【活動観察】 今もっている力を生かし積極的にゲームに参加している。【活動観察】 教え合ったり、励まし合ったりなど、チームワークを大切にしている。【活動観察】 準備、後始末、ゲームの運営に進んで取り組んでいる【活動観察】 | <ul style="list-style-type: none"> 自分やチームの長所や短所を見つけることができる。2-5【個人ノート】 自分やチームの力を客観的に評価し、技能向上のための適切なめあてが持てる。【活動観察】 個人やチームの単元目標をもつことができる。2-2【個人ノート】 | <ul style="list-style-type: none"> 正しいパスの形をつくりタイミングよくボールをとらえることができる。2-4【チェック表】 サーブでネットを越すことができる。【チェック表】 積極的にボールを取りにいける。【自己評価表・活動観察】 | <ul style="list-style-type: none"> 個人技能、集団技能のポイントを理解できる。2-3【活動観察】 基本的なルールを理解できる。【活動観察・個人ノート】 ゲームの進め方が理解できる。【活動観察】 |

| 段階 | 指導計画 | | 観点別学習状況の評価規準 | | | |
|---------------------------|--|---|---|--|--|---|
| | 指導のねらいと道すじ | 支援 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能 | 知識・理解 |
| 3 次 6 時 間 | <p>「ねらい2」 個人やチームの技能を高め、簡単な作戦を立ててゲームを楽しむ。</p> <p>[学習の準備、準備運動] ↓ [本時の課題と練習方法の確認] ↓ ←学習ノート 課題-練習方法例 [班別の練習] ↓ ←学習ノート 課題-練習方法例 [ゲーム] ↓ ←チーム評価表 [反省・評価] ↓ ←自己評価表 チーム評価表 [次時の課題と練習方法の選択] 学習ノート 課題-練習方法例</p> | <ul style="list-style-type: none"> チーム評価をもとに、課題一練習方法例から自分たちにあった課題や練習を選択させるが、その際ゲーム高まり表をもとに自分たちのゲームの段階をしっかりと意識させたい。 チーム評価と課題がうまくつながらない班には話合いに加わり、適宜助言する。 負けの多いチームや練習がうまく進められない班には、ポイントを具体的に指導・助言する。 個人ノートに書かせることで課題を意識させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 個人やチームの課題を意識し、粘り強く練習やゲームに取り組んでいる。 3-2 【活動観察】 評価活動を意欲的に行なっている。 3-1【自己評価表】 自分の考えや意見を積極的に発表している。 【活動観察】 係や審判の仕事を積極的にやろうとしている。 【活動観察】 勝敗に対して公正な態度がとれる。 【活動観察】 | <ul style="list-style-type: none"> チームの力を把握し、集団技能向上のために適切な課題と練習方法を選ぶことができる。【個人ノート】 3-3 チームの課題に対して、自分のめあてが持てる。 3-4 【個人ノート】 簡単な作戦を立てることができる。 【個人ノート】 | <ul style="list-style-type: none"> ねらったところへパスを送ることができる。 3-6 【活動観察・自己評価表】 確実にサーブを入れることができる。 【活動観察】 積極的にカバーやつなぎができる。【自己評価表・活動観察】 | <ul style="list-style-type: none"> 集団技能向上の段階が理解できる。 【活動観察】 審判の仕方を理解できる。 3-5 【活動観察】 作戦を理解できる。 【個人ノート】 |
| 4 次 3 時 間 | <p>「ねらい3」 相手に応じた作戦を立てて、ゲームを楽しむ。</p> <p>[学習の準備、準備運動] ↓ [本時の課題と練習方法の確認] ↓ ←学習ノート 課題-練習方法例 [班別の練習] ↓ ←学習ノート 課題-練習方法例 [ゲーム] ↓ ←チーム評価表 [反省・評価] ↓ ←自己評価表 チーム評価表 [次時の課題と練習方法の計画] ←学習ノート 課題-練習方法例</p> | <ul style="list-style-type: none"> 課題づくりや練習計画づくりが不十分な班には、話合いに加わり、積極的に助言や励ましをする。 集団技能や個人技能の高まりを認め、称賛や励ましをする。 チーム状況や特徴に応じて作戦のポイントを助言する。 集団や個人の意欲的な姿や工夫のみられるチームを紹介し、更に意欲を高めたい。 自己評価やチーム評価が的確におこなわれるように助言する。 | <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話合いに参加し自分の意見や考えを発表している。 【活動観察】 声を掛け合ったり、よい点を認め合ったりなど、協力して練習やゲームに取り組んでいる【活動観察】。 4-1 評価活動の意味を理解し意欲的に取り組んでいる 【活動観察・自己評価表】 準備や後始末ゲームの運営に進んで取り組んでいる。 【活動観察】 | <ul style="list-style-type: none"> 自チームの能力と対戦チームの特徴を踏まえ、適切な課題を持つことができる。 【個人ノート】 チームの課題に対して、自分のめあてが持てる。 【個人ノート】 課題に応じた練習方法を工夫することができる。 【活動観察】 4-2 【個人ノート】 チームの特徴を生かした作戦を立てることができる。 【活動観察・個人ノート】 | <ul style="list-style-type: none"> パスアタックやスパイクなどで意図的に攻めることができる。 【チーム評価表】 サーブで相手をねらうことができる。 【活動観察】 場面に応じてパスを使い分けることができる。 【活動観察】 カバーやつなぎなど次の局面を考えた動きができる。 4-3 【チェック表・活動観察】 作戦に合った役割を果たすことができる。 【活動観察】 | <ul style="list-style-type: none"> 集団での攻撃や防御の仕方が理解できる。 【活動観察】 チームの特徴を生かした作戦の立てかたが理解できる。 【活動観察】 技能向上のポイントが理解できる。【自己評価表】 |
| 5 次 1 時 間 | <p>「学習の振り返りと評価」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価のまとめ 感想文、アンケート 個人の目標の達成度評価 (個人技能ポイントチェック表 スキルチェック表) 班の目標の達成度評価 (学習ノート、チーム評価表) | <ul style="list-style-type: none"> 学習ノートや各種評価表をもとに、目標の達成度を振り返らせる。 次時へのつながりを意識づける。 互いの伸びを認め合わせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 進んで話合いに参加し、単元の振り返りをしようとしている。 【活動観察】 5-1 評価表や個人ノートをしっかりと仕上げることができる。 【評価表・個人ノート】 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の振り返りが適切にできる。 【個人ノート・感想】 5-1 自分やチームの伸びを見つけることができる。 【個人ノート・感想・自己評価表】 | | <ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しみ方、学習の進め方が理解できる。 【個人ノート・感想】 |

D-2-2 その他の実践（指導案含む） 3年陸上競技長距離走

〈実践事例〉・・・ペア学習による課題解決学習の実践例

(1) 指導案

3年1、2組男子 保健体育科学習指導案

場 所 宇ノ気中陸上競技場（雨天時・体育館）

1 単元名 陸上競技（種目名 長距離走）

2 本時の学習 第2次の1時（総時間4時間 2/4）

- (1) 題材 長距離走
- (2) 学習のねらい
 - ① 課題を意識して粘り強く練習に取り組もうとしている。
 - ② 長距離の技能の高まりを確認しながら記録を向上させることができる。
- (3) 生徒指導上の留意点
 - ① 技能が向上した生徒、記録が向上した生徒を一人でも多く見つけ、その努力や取り組みを認めていきたい。
- (4) 準備
 - ・電子タイマー、ストップウォッチ、記録用紙
- (5) 展開

| 段 階 | 学 習 活 動 | 時 間 | 教 師 の 支 援 ・ 評 価 と そ の 方 法 |
|--|--|-----|--|
| 準備 つかむ | 1. ランニング、準備運動。 （各種ストレッチ） 2. 集合、整列、挨拶。 3. 本時のねらいの確認。 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・怪我のないように念入りに準備運動させる。健康観察をする。 ・元気良く爽やかな挨拶をする。 |
| <共通課題> あらかじめ決めた距離を、自分にあったペースで走り、目標タイムに挑戦しよう。 <個人の課題>・・・250mのラップを〇〇秒で走り、目標タイムを達成する。 | | | |
| 高める | 4. グループ別に学習を行う ・100mペースランニング ・250mペースランニング | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・練習がスムーズに行なわれているか見て回り、適宜指導・助言する。 ・一人でも多くの生徒の頑張っている姿や上達した点の発見に努めたい。 |
| | 5. 相互評価・意見交換。 | 25 | <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に話し合い活動に参加しようとしているか。 （ア 活動観察） |
| ためす | 6. 記録会。 | 30 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの生徒がラップをとり、声をかけて頑張らせたい。 |
| | 7. 本時のまとめ。 | 45 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が設定したペースで走り、目標記録に到達することができたか。 （ウ 活動観察、挙手、発言） |
| ふりかえる | 8. 次の学習内容を知る。 | 50 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標記録を達成できた、また、それに近付けた生徒を一人でも多く見つけ出させたい。 ・本時を振り返って課題を意識できたか。 ・次時のねらいへつなげる。 |

D-2-3 その他の実践（指導案含む） 1年陸上競技リレー

〈実践例〉・・・共通課題の学習からペアで課題を選択して取り組む学習例

(1) 指導案

1年3.4組男子 保健体育科学習指導案

1 単元名 短距離走・リレー（陸上競技） 場所 宇ノ気中陸上競技場（総時数6時間）

2 本時の学習

(1) 単元名 短距離走・リレー 第三次の2時（総時数6時間 5/6）

(2) 学習のねらい

- ① ペアと協力し、課題達成に向け、粘り強く取り組むことができる。
- ② バトンパスの技能を高め、記録を向上させることができる。

(3) 準備

・学習ノート ・バトン18 ・ストップウォッチ6 ・スタート用旗

(4) 展開

| 段階 | 学習活動 | 時間 | 教師の支援・評価とその方法 |
|---|---|----------|--|
| 準備 つかむ | 1. 準備運動をする。 ランニング ダッシュ ストレッチ | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声をかけ合わせることで、意欲的に取り組もうとする雰囲気を作る。 ・健康観察をする。 ・課題意識の薄い生徒に発表させ、意識づけをさせる。 ・アドバイスペアでお互いの課題を確認させる。 |
| | 2. 集合、挨拶をする。 3. 各ペアの本時の課題と練習方法を確認する。 | 5 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 共通課題・走り方やバトンパスの技術をさらに高めて記録を伸ばそう ↓ ペアの課題・① 正しい動作でスムーズにバトンを渡そう。 (選択) ② 2人の最高スピードでバトンを渡そう。 ③ テークオーバーゾーンを有効に使おう。 ④ 走り方を工夫してさらにスピードを高めよう。 </div> | | | |
| 高める | 4. 各ペアの課題ごとに練習する。 | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・全てのペアに練習コースを設定し、十分な練習ができるようにする。 ・心臓が悪いMには体調面で特に注意をほらう。 ・ペアと協力し課題達成に向け、粘り強く取り組もうとしているか。(ア 活動観察) ・練習場所を巡回しながら、つまづきのみられるペアや取り組みが不十分なペアには、個別に指導・助言する。 ・アドバイスペア同士で見せ合いながら取り組ませる。 ・係分担により、スムーズに行わせる。 |
| ためす | 5. 記録の測定をする。 ・記録測定 ・技能チェック (アドバイスペア) | 35 | |
| ふりかえる | 6. 本時の反省をし、次時の学習内容を知る。 ・ペアでの課題の達成度 ・自己評価表 | 42 | <ul style="list-style-type: none"> ・バトンパスの技能を高め、記録を向上させることができたか。(ウ 学習ノート) ・技能チェックをもとに、記録が伸びた理由、伸びなかった理由を考えさせる。 ・記録のよい生徒だけでなく、得点を伸ばした生徒、技能の向上した生徒や意欲的な取り組みを見せる生徒を一人でも多く全体の場で紹介し、その努力や頑張りを認める。 ・ペア同士で助言し合いながら、学習ノートに記入させる。 |
| まとめる | 7. 後始末、整列・挨拶をする。 | 47 50 | |

(5) 学習ノート、評価表

